

豊かな海づくり大会と一般公開

ひらま よしのぶ
平間 美信 (日本海区水産研究所 調査普及課)

はじめに

2008年9月6～7日に新潟県において全国豊かな海づくり大会が行われました。また、この大会にあわせて日本海区水産研究所でも一般公開が9月6日に開催されましたので紹介します。

全国豊かな海づくり大会

全国豊かな海づくり大会は、水産資源の維持培養と海の自然環境保全の必要性を広く国民に訴えることを目的として、昭和56年から始まり今回で28回目となりました。

今回の開催場所は、新潟市にある朱鷺メッセで、「生きている生かされているこの海に」「人と自



図1. 水産総合研究センターのブース。中央はマスコットのあんじ。



図2. 展示の様子。ズワイガニの赤ちゃん撮影！(上)。魚すくいコーナー(下)。

然の“わ”でつくる新潟の海」をテーマに行われました。水産総合研究センターも「海を学ぼう！研究機関・学校等の展示ブース」に出展し(図1)、当センターで得られた研究開発成果や、卵から育てた魚介類(図2上)などをパネルや展示物で紹介しました。

日水研からは、日本海の海況予測システム「JADE」の紹介や、スルメイカの分布状況、ヒラメのDNAによる放流効果についてパネル等で展示しました。また調査普及課としては、「ふやそう！サクラマス」と題しパネル(図3)やサクラマスの親魚を展示し、訪問者には職員が研究内容について説明を行いました。

今回のブースの1番の人気は子供向けの魚すくいコーナー(図2下)で、標識機器の入った魚をすくうとキーホルダーのプレゼントがあるため獲得を目指し2度、3度と挑戦する子供もいました。来場者も研究機関・学校等の展示ブースの中では多く、水産総合研究センターの業務を広く紹介することができました。



図3. ふやそう！サクラマスのパネル。

日水研の一般公開

日水研のテーマは「いま日本海で何が起きているか? :サイエンスカフェ」で、漁業資源部「さわってみよう日本海のさかな」、海洋環境部「海洋環境をしらべる」、調査船「のぞいてみよう調査船みずほ丸の仕事」などのテーマでパネルや展示物で紹介しました。

調査普及課からは「いま消えつつある日本海サクラマス」のテーマで、どうしてサクラマスが減ったのか、そして増やすためにどのような調査を行っているのかをパネル(図4)で展示して紹介しました。また水槽に入れたヤマメの幼魚(図5)と、銀毛とブナ毛のサクラマス親魚の雌雄の標本(図6)を並べて展示して、川から海、また川へと移動、成長するに従って、体がどう変化するか実際に見てもらいました。ヤマメは調査普及課で行っているサクラマスプロジェクト研究で調査している河川から調達し、またサクラマス親魚は北海道から取り寄せ、この日のために保管していたものです。会場では元気に泳ぐヤマメを見て頂いたり、また来場者の方々は実物のヤマメとサクラマスを見つつ、ヤマメが川を下り海で育ってサクラマスになる話や、同じサクラマス親魚でも銀毛

とブナ毛の違いの話を聞いてビックリしていました。また、どうして少なくなったのかについて、パネルと職員の説明により、「良く判りました」との声もあり、サクラマスについて紹介する良い機会になりました(図7, 8)。

最後に、本州日本海に生息するサクラマスの資源回復に向けて、更なる調査研究を展開したいと思えます。



図5. 元気に泳ぐヤマメ。



図6. サクラマス親魚. 銀毛(左), ブナ毛(右).

WARNING!

サクラマスが減っています!

皆さんは「サクラマス」と言う魚をご存じでしょうか。北日本では昔から脂ののっているおいしい魚となじみ深い魚です。ところが、近年、この「サクラマス」が減っています。新潟県では右のグラフのように昭和62年には12万尾以上も漁獲されていましたが、平成19年はわずか6千尾程となってしまいました。

新潟県におけるサクラマスの漁獲数

どうしてサクラマスは減ってしまったの?

WHY?

サクラマスは...

- ① 水の冷たい上流に卵を産みます。
- ② 稚魚～幼魚はきれいな水の流れを好みます。
- ③ 3年間の生涯のうち、2年間を川で、1年間を海で過ごします。

上記のことから**サクラマスには河川環境がとてん大事**です。

まの知識

- ↑ 水田へ取水するための大型堰堤
- ↑ 漁業の管理と密漁の取締
- ↑ 砂防堰堤
- ↑ 護岸の直線化による川の減少

資源が減ってしまった大きな原因は上の写真のような「ダム」や「堰堤」ができて、本来の上流の生息域までの道が分断されてしまったためです。また、洪水による河川の氾濫を抑えるために護岸整備が行われ、川の流れがまっすぐになり、餌が少ない住みにくい環境になってしまいました。それにもかかわらず、保護対策が遅れたことから、資源が減少してしまいました。

図4. 一般公開(サクラマス)のパネル。



図7. 職員がパネルを説明。



図8. パネルを見る来訪者。